2025 年度 授業コード: 21109823

授業科目		*				実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	必修	開講年次	0	開講時期	後期・前期
担当教員	髙橋	甲枝/財津	倫子			,	
	実務家教員として、急性期病院における看護師経験を有し、消化器外科、整形外科、呼吸器外科、						、呼吸器外科、心臓
	外科等にて臨地実習の指導経験をもとに実習指導を行います。						
	実習目的						
授業概要	概要 1. 急性期・回復期にある患者の特性を理解し、術前から術後の過程において、患者およびその						¥およびその家族に応
	じた看護を実践できる能力を養う。						
	2. 急性期の看護の実践を通して、生命の危機的状況とその後の回復過程を知り、早期回復および障害に						
	応じた生活の自立に向けて援助できる能力を養う。						
授業形態	対面授	·業 			授業方法 実習		
	学生が達成すべき行動目標						
	1. 急性期・回復期にある患者を総合的にとらえ説明することができる。						
	2. 急性期・回復期にある患者の看護上の問題を明らかにし、看護過程の展開を行うことができる。						
抽准的	3. 医療チームにおける看護の役割や機能を理解し、チームの一員としての望ましい協働のあり方につ						
標準的レベル	いて考えることができる。 // 継続寿護の必要性及びそのために活用できる社会資源について説明することができる						
	4. 継続看護の必要性及びそのために活用できる社会資源について説明することができる。 5. 急性期・回復期にある患者および家族への援助を通して、思考を深め自己の看護観を述べることが						
	5. 念住期・回復期にめる忠有のよび家族への援助を通じて、応考を床の自己の有護観を迎へることが できる。						
	6. 看護専門職としての責務を認識し、倫理的配慮に基づいた行動ができる。						
	・急性期・回復期の疾病を十分に理解したうえで、エビデンスを踏まえたアセスメントのもと、患者の						
	看護上の問題を明らかにし、個別性のある看護過程の展開を行うことができる。						
	・手術を受ける患者を取り巻く状況や看護の役割について理解するとともに、病棟・手術室・ICUでの看						
理想的	護の継続性が理解できる。						
	的 ・・ ・医療チームにおける看護の役割や機能を理解し、チームの一員としての望ましい協働のあり方に	協働のあり方につい					
・医療ナームにおける有護の役割や機能を埋解し、ナームの一員としての望る レベル て考えることができる。							
	・継続看護の必要性およびそのために活用できる支援について説明することができる。						
	・急性期・回復期の実習を通して、自己の看護観を深め、自己の課題を明確にできる。						
	・看護	i専門職とし [*]	ての責務		配慮に基づいた行動	かができる。	
					去・評価割合	Γ	
	評価方法			評価割合	(数値)	•	備考
試験							
小テスト							
&± /-		ポート	- 5.1				
		レゼンテーショ	ョノ)		0	0	
レポート外の提出物 その他					0		마는
	7	り他		6	0	実習態度 看護実	践

	カリキュラムマップ(該当 DP)・ナンバリング								
DP1	- DP2 O DP3 O DP4 O DP5 O	ナンバリング -							
	学習課題(予習・復習)	1回の目安時間(時間)							
受け持ち	0								
情報収集	情報収集、アセスメント、看護計画を立案し、個別性のある看護を探求する								
授業計画									
	成人急性期看護学実習は、3年次後期~4年次前期までの間に、2週間指定された病院で実習を行う。								
	【第1週】								
	事前学習返却と指導、実習オリエンテーション、手術室オリエンテーション								
	病棟オリエンテーション								
	病棟スタッフへの挨拶、受持ち患者への挨拶								
第1回	画発表、看護技術の見学・実施								
25 . []	計画立案発表、学生カンファレンス								
	【第2週】								
	行動計画発表、情報収集、計画立案発表								
	看護技術の見学・実施・評価、学生カンファレンス、まとめ発表								
	学内実習(実習内容の振り返りと個人面接)実習								
	詳細については、看護学実習要綱を参照すること。 								
	看護診断ハンドブック								
テキスト	成人急性期看護方法論、救急クリティカルケア看護学、看護形態機能学、疾病総論・各論、臨床検査な								
***************************************	どで使用したテキストや資料								
参考図書・教材	甘醂手灌は街 手灌込むの展問 手灌停珊など 鬼老・完佐に対して実体する手灌	に必要が知識。技							
一方一夕	基礎看護技術、看護過程の展開、看護倫理など、患者・家族に対して実施する看護に必要な知識・技術、態度について特別をは、態度について特別を								
ベース・	│ 術・態度について振り返り、観察および清潔援助技術については確実に実施できるよう自主的に練習を │ │ 行い実習に臨みましょう。特に、成人看護学演習で行った技術演習「手術直後観察と援助」、「清								
雑誌等の	1] い美自に踊みよりより。特に、成人有護子演首で1] フた牧神演首「子神直後観宗と援助」、「消								
紹介									
課題に対									
するフィ	日々の実習中およびカンファレンスでコメントを行います。 臨地実習「まとめ」の発表時に総評を行います。 2 週目学内実習時に個人面談を行い、コメントを行います。								
ードバッ									
クの方法									
	成人急性期看護方法論や成人看護学演習、看護形態機能学、疾病総論・各論、臨床	 検査などで使用した							
***	テキストや資料を参考にしましょう。								
学生への	成人急性期看護学実習は看護展開が速いことから、看護形態機能学、疾病学総論・各論、成人急性期看								
メッセージ・コメ	→ 護方法論の事前学習を十分に行って実習に臨んで欲しいと思います。								
	実習開始前の週に患者情報を提供します。実習に必要な事前学習を行い、実習に臨みまし								
ント	実習に必要な看護技術を練習し、習得しておきましょう。								
	実習中は健康管理に十分に気をつけるようにしましょう。								